

林能楽会岡山公演

三井寺

林喜右衛門

松の岳の栄

まつのきのさかえ

屋島

樹下千慧

松の栄

令和八年十月十八日

午前部・十一時
午後部・十四時
於・岡山後楽園能舞台
全席指定



林能楽会岡山公演

松の菰の栄

MATSUNOKI NO SAKAE

2026.10/18(日) 岡山後楽園能舞台

午前の部 11:00-12:45 「屋島」 (開場 10:15)

午後の部 14:00-15:45 「三井寺」 (開場 13:15)

*終了時間はおよその目安です

■「屋島」解説 林 喜右衛門

能「屋島」

漁翁/源義経の霊 樹下 千慧

漁夫 河村 浩太郎

旅僧 岡 充

旅僧 有松 遼一

所の者 茂山 忠三郎

笛 鈴木 麻里

小鼓 林 大和

大鼓 河村 凜太郎

後見 味方 團

河村 和貴

地謡 林 喜右衛門

河村 晴久

田茂井 廣道

松野 浩行

林 彩八子

林 小梅

■「三井寺」解説 河村 晴久

能「三井寺」

駿河国の女 林 喜右衛門

稚児 樹下 應介

三井寺の僧 有松 遼一

三井寺の僧 岡 充

三井寺の小僧 茂山 忠三郎

清水寺門前の者 山本 善之

笛 鈴木 麻里

小鼓 林 大和

大鼓 河村 凜太郎

後見 松野 浩行

樹下 千慧

地謡 河村 晴久

味方 團

田茂井 廣道

河村 和貴

河村 浩太郎

片山 美保

能「屋島」あらすじ

讃岐国 屋島浦の塩屋に一夜の宿を乞う旅僧。漁翁は京の人と知り快く宿を貸し、都を懐かしむ。漁翁は僧の所望にて屋島合戦の顛末を物語るが、余りにも詳しい。

不審がる僧に漁翁は自らの正体を仄めかし、姿を消す。漁翁こそ、源氏の大将・源義経の幽霊だった。

その夜、僧の夢枕に現れた義経の霊。合戦のさなかに弓を海へ流してしまった折、身の危険を顧みずに取り戻したことを語る。それは名誉を惜しむ心であり、武の道

に生きる自らの信念である。そうする内、修羅の巷へと変貌した屋島浦。義経は戦への執心に奮い立つと、死してなお続く闘争の日々を見せるのだった。

チケット

本公演は午前の部・午後の部の二部構成にて開催いたします。各部ごとにチケットをお求めください。

S 席：¥5,000 全席指定

(正面・ワキ正面1、2列目)

A 席：¥3,000 全席指定

(正面・ワキ正面3、4列目))

*後楽園入園料は含まれておりません。

*全て椅子席です。

*当日券お求めは能舞台受付にお越しください。

*由緒ある能舞台ですので、傾斜等、視認のための設備はありません。うしろのお客様にもご覧いただけるよう椅子の並べ方に工夫をしておりますが、やむを得ない事もございます事、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

お申込・お問合わせ

林能楽会岡山事務局

TEL 080-3107-5759

(滝口方/平日 10:00 ~ 17:00)

*お名前、チケットの種類と枚数、郵送先のご住所をお伺いします。

*チケット代金のお振込先は郵送させていただきます。

会場

岡山後楽園能舞台

〒703-8257 岡山市北区後楽園 1-5

注意事項

*お座敷にお上がりいただく形式です。(お履物入れ用意あり)

*半屋外の会場です。防寒具等はご自身にてご用意ください。

*客席でのお食事はご遠慮ねがいます。

*能舞台に自販機等はございません。

*携帯電話等のアラーム音が出る電子機器の電源はお切りいただくか、マナーモードへの設定をお願いいたします。

*上演中の撮影・録音・録画は禁止です。

*他のお客様の観能の妨げになると判断した場合は、退席をお願いする場合がございます。

主催：林能楽会

能「三井寺」あらすじ

清水寺に参籠し生き別れになった息子との再会を祈る母。近江国 三井寺へ行けとの霊夢を授かり、早速近江へと赴く。

一方、三井寺では住職たちがこの度仕えることとなった稚児を伴い月見をして

いた。そこへやって来た先刻の母親は、三井寺の鐘の澄んだ響きに感催し、住職の制止を振り切り自らも鐘を撞くと、八月十五夜の月光の下、鐘の風情に興じて舞い戯れる。やがて、この稚児こそが探し求めていた息子であることがわかり、二人はめでたく再会を果たすのだった。